

令和3年度 東京大学まちづくり大学院演習第1(日常生活圏)

教授 城所 哲夫
非常勤講師 須永和久

1. 演習の狙い

- ・日常生活圏レベルの広がりを持つ地区を対象とするまちづくりの技法について、演習する。
- ・今年度は、東京都足立区にある北千住駅周辺を演習の対象地とする。
- ・対象地区は、鉄道5路線が結節する交通ターミナルであり、日光街道の宿場町としての歴史がある一方近年複数の大学の移転立地があり、また駅前の再開発事業も進む（※）等、新しい街づくりの動きがある。
※西口には竣工した地区が1カ所あり、東口でも事業が行われている。また地区の南側にある千住大川端地区では土地利用転換が予定されている。
- ・そのような状況から、北千住駅周辺は、リクルート住まいカンパニーの調査※では、「穴場だと思える街（駅）ランキング」で4年連続で1位となっている。
※関東圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県）に居住している20歳～49歳の7000人を対象に実施した「SUUMO住みたい街ランキング2021 関東版」。
- ・更に地区内には老朽化した大規模団地があり、団地再生も課題となっている。
- ・一方、地区内には地震時の危険度が高い町丁目があり、また河川の破堤時において甚大な水害リスクがあることが示されており、防災上の課題を抱えている。
- ・本演習においては、上記の状況、地域の資源、周辺状況を踏まえて、2040年代に向けて、北千住駅周辺について、安全で住みやすいまちを実現することを基本とし、更に大学の立地を生かしたクリエイティブタウンとして発展させることを目標として、目標を実現するまちづくり事業を検討提案する。
- ・目標とする街を実現する事業を検討提案することを通じて、地区単位のまちづくりの現況課題分析から計画及び実現手法の流れ、考え方、組み立て方法、論理（ロジック）を習得することを演習の目的とする。

2. カリキュラム

①対象地区

- ・北千住駅周辺

②実施期間

- ・2022年10月8日から11月26日の毎週土曜日（11月12日は休講）、午後1時から6時、7

回。

③演習の進め方

- ・演習は基本的に対面とオンライン・在宅を組み合わせて実施する。
- ・最終成果物は個人レポート（北千住駅周辺での事業提案）とするが個人が属するグループ全体のまちづくりの方向性やコンセプトを示す成果の作成も求める。
- ・対面で行う場合は出席をとります。
- ・現地見学は、各自で、状況に応じて実施する。（コロナ対策の観点から必須とはしない）

④演習の内容

「レジリエントで住みやすいクリエイティブなまち北千住2040を実現するまちづくり事業」の検討作成

- ・2040年を目標とし、北千住駅周辺を安全で住みやすく、かつクリエイティブな街を実現する事業（ハード事業またはソフト事業。都市開発事業、拠点的な施設整備、交通インフラ整備、ソフトな仕掛け・仕組み、イベントやタウンマネジメント等）を提案する。
 - ・北千住駅周辺地区のマスタープランは、足立区が策定したものを前提とし、そのマスタープランを実現する事業の提案を演習成果とし、演習において新たなマスタープランの検討作成を求めるものではない。ただし、既定のマスタープランに対する付加的な提案※は可能とする
- ※ゾーニングの見直し、交通ネットワークの新規提案等。

⑤スケジュール

- ・7回実施する。第7回11月26日を最終成果発表とする。

□1日目：10月8日 本郷(141教室)で実施

ガイダンス、講義

13:00 - 13:30 本郷に集合(141教室)ガイダンスを行い、受講生を4名から5名の班に分ける(4班編成)

13:30 - 15:00川崎泰之氏(TA。大成建設。まちづくり大学院1回生)による講義「北千住のまちづくり」

15:00 - 17:00 班ミーティング(今後の作業方針)

□2日目：10月15日 本郷(141教室)ただし、その後、在宅作業or現地視察

班ごとにグループワーク（既定計画の読み込み・分析、課題ブレインストーミング、現状分析、未来年表※作成の分担ぎめ）

※2040年までの北千住駅周辺の変化動向及び社会経済状況、まちづくり関連技術の変化を予測する未来年表を全員で作成する。

作業方針が決まった班は、適宜、帰宅しての個人作業、班ごとの現地視察を実施。

□ 3 日目：10月22日 在宅

在宅個人作業：現状分析、未来年表作成

在宅個人作業+班ごとのオンライングループディスカッション

- ・zoom質問タイムを設ける（教員+川崎氏）：1時間ほど、全員がzoomメインルームに集まり、質問を出す。

□ 4 日目：10月29日 本郷(141教室)

班ごとに地区の課題発表、まちづくり事業の方向性案発表。

13:00 - 15:00グループワーク（課題の抽出）

（現状分析、未来年表と課題の抽出）

15:00 - 16:00 班でのディスカッションの発表+個人課題案一言発表（まちづくり事業の方向性など）

- ・教員及び川崎氏が発表に対して、コメントする。

16:00 帰宅して個人作業

□ 5 日目：11月5日 在宅

個人別まちづくり事業骨子案発表。

在宅個人作業+班ごとのオンライングループディスカッション

13:00 - 16:30個人作業（各自、テーマを決めて北千住駅周辺における事業提案を検討する）

16:30 - 18:00 zoomメインルームで個人作業の事業の骨子案を発表し、教員及び川崎氏がコメントする）

※事業提案の成果品としては、プロジェクトの概要、プロジェクトキャンバスシート、プロジェクトの効果を論理的に説明するロジックツリーモデルを作成する。

（11月12日は修論ジュリーのため休講）

□ 6 日目：11月19日 本郷(141教室)

個人別事業提案作成+班ごとのまちづくり提案の検討

zoom質問タイムを設ける（1時間ほど、全員にzoomメインルームに集まってもらい、教員に対する質問を受けつける）

□ 7 日目 : 11月26日 本郷(141教室)

最終成果発表

13:00 - 15:00個人別提案をベースとして各班ごとのまちづくり提案作成)

15:00 - 17:00 班ごとの発表会 (個人提案を含む) : 教員、TA、ゲストによる全体講評

⑤体制

ア. 教員

- ・城所哲夫 教授
- ・須永和久 非常勤講師 (株式会社計画技術研究所代表取締役)
- ・川崎泰之 TA (大成建設設計本部シニア・ランドスケープアーキテクト まちづくり大学院1回生)

イ. 協力者 (予定)

- ・足立区 (協力打診中)